

# 異文化の中での夫婦像

生まれ故郷を遠く離れて、

異文化社会で生活することはとても大変なこと。

山形での生活を18年・35年過ごされた

2組のご夫婦にお話を伺いました。

## Q1 どんな御縁で山形にいらっしやったのですか？

**八重樫** アメリカの大学院で牧師の勉強をしている折、卒業の4、5カ月前に妻の兄から「山形の教会の牧師に欠員が出たので来てほしい」と依頼され、1997年8月に着任しました。キリスト教会の牧師の働きをする傍ら、高校の教師を2008年まで勤めていました。

**ケイティ** 夫と山形に来て35年になりました。引越しが多く、いろんな所に住みましたが、山形での生活が一番良いです。**阿部** 一人旅が好きで、イラン旅行中にナザリと知り合い、結婚しました。ところが、当時学生だった弟が大怪我をしてしまい、介護のため帰国しました。

**ナザリ** 医師を目指していた義理の弟が大けがをして、介護を必要としていました。しかし、妻の両親は高齢のため、自

分達が介護しなければならぬ状況だったので来日しました。それ以来、ずっと山形に住んでいます。ここにいる私達はどちらも兄弟のことが関わって山形にいるんですね。おもしろい関係ですね(笑)。

**阿部** ナザリは、山形でたくさんの人と出会うことができました。出会いの恵みに感謝しています。

## Q2 山形の生活で、戸惑われたことは？

**ケイティ** 私達家族は、日曜日に教会に行きます。しかし、子ども達は学校の行事が重なるので、それまで一生懸命練習していても欠席しなければなりません。

それで、日曜日の行事が延期になるように、「雨、(降って)ください」と祈ったりもしました。子ども達からは、「お母さん、祈らないで」と言われましたが(笑)。

**ナザリ** 誰か何をすると決めていないです。出来る人がやる。あと、自分が使った血は自分で洗います。そうすることで妻は3〜5分でも楽になれるでしょう。

友達の家に行っても皿洗いを手伝います。**ケイティ** 出会った頃は、ハンバーガー、マッシュポテトなど洋食が主でしたが、結婚してから時々日本料理(焼き魚・味噌汁等)を作るようになりました。そうしたら、「ああ、日本人で良かった」とって(笑)**ナザリ** よかったね。その時八重樫さんは日本人に戻れたんだね。よかったよ(笑)。

## Q3 家事や育児はどのように分担されていますか？

**八重樫** ここ数年、妻は毎日のように雑誌を見ながら新しい料理に挑戦してくれています。おいしいですよ。でも、毎週日曜日の夕食は完全な日本料理です。

**ケイティ** 夫は毎日掃除機をかけてくれ、木曜日は皿洗いを手伝ってくれます。アメリカに住む娘の夫も、家事が好きなのでよく手伝ってくれます。

## Q4 出身国では、男性は家事・育児をしますか？

**ケイティ** 夫婦で分担の比率は違うと思いますが、お嫁さんも働いていたりするので、出来る人がします。

**八重樫** 日本では、夫婦



八重樫和彦さん  
仙台市出身



八重樫ケイティさん  
アメリカ  
(ポルティモア)出身



アタオッラー  
ナザリ  
ナフォーティさん  
イラン出身



阿部良子さん  
天童市出身

**八重樫** 日曜日の学校行事に参加できないことの説明は私が出ました。伝統的な欧米の考え方は、家族自らの判断で物事を決めます。日本は、社会のフレームがあつて物事が決められ、それに合わせて家族が行動をとる社会です。私達は子ども達を一番愛しています。何が一番大切



外人が2人以上いると、**ガイジーンズ**だよ。

ダジャレ好きのナザリさん。  
取材中もぼんぼんダジャレを言って、皆を笑わせていました。

か、その答えとして、日曜日は家族が教会と一緒に過ごすことがベストだと思えました。  
次男は小学生のとき野球クラブに所属していましたが、日曜日の試合には出られませんでした。しかし、欠かさず練習を続けたので、最後には表彰状をいただきました。人生観などの違いがありました。最終的にあなたがかい目でみていただけで、嬉しかったですね。

**ナザリ** 日本語が全く分からないので、大変苦労をしました。妻は弟の世話で毎日大変だったから、日本語を教える時間もなかったんです。お互いペルシャ語・英語が通じたので、安心感があったのかな。でも、いろんな事を体験して日本語を覚えました。

「変だな」と思ったことは、街の掲示板などに英語で「インフォメーション」と記載されている、その説明は日本語が多いということ。私は日本語が読めないの、英語で説明が書いてあるのかと期待して近づいてみると、日本語での説明だったりしてとてもがっかりします。外国語

が働いている事を前提に家事・育児をするという考え方が多いように思います。アメリカも今いろいろ変わってきていますが、従来は、夫婦がしっかり幼少期の子どもを世話するという考え方を大切にする社会でした。妻だけがするべきということではありませんが、母親が幼少期の子どもと一緒に過ごすことは大事です。産休・育休をとれる企業が増えてきましたが、大事な幼少期を一緒に過ごした後、社会復帰できる雇用の確保が望ましいのです。家庭で子育てをし、主婦の役割を果たしたいという人達と、外に出たいという人達、入り混じった価値観がとりいられる社会であってほしいと思います。

**ナザリ** 地域で違うと思いますが、イランの男性はほとんど家事・育児をしません。私の父も育児をしませんでした。伝統的に、男性が家事・育児をする習慣がないところではできないかもしれません。自分の子どもであっても、両親、特に父親の前で子どもをあやすのは失礼という考え方があつたりしますから。

**ケイティ** 感謝の気持ちをもってほしいです。子どもが小さい頃、公園で一人で遊ばせることができ、山形の安全な環境に感謝しました。自分達のまわりのことを、もっと再発見してほしいです。

## Q5 山形の男女に望むことやアドバイスしたいことはありますか？

**ケイティ** 感謝の気持ちをもってほしいです。子どもが小さい頃、公園で一人で遊ばせることができ、山形の安全な環境に感謝しました。自分達のまわりのことを、もっと再発見してほしいです。

山形の野菜や果物はとってもおいしい！  
私の子どもたちも大好きよ！



おいしい野菜や果物は山形の自慢！  
アメリカにいる娘さんが、山形の学校給食のメニューを見て野菜などが充実しているのに驚いていたそうです。

先日市役所の窓口で、  
お会いしましたね！また  
お会いできてうれしい！

